

《外部講師による社内研修会 : Off-JT》

佐賀市が取り組む排水対策について

西日本総合コンサルタント株式会社

1. 開催目的

平成29年度教育訓練計画の12月ステージとして、社員の技術力等スキルアップをめざした「外部講師による社内研修会」を開催しました。

今回は、「佐賀市が取り組んでいる排水対策（内水対策）について」を研修テーマに、浸水の状況、浸水要因、排水対策・取り組み事例、今後の課題について佐賀市河川砂防課・水問題対策室長の栗山佳寛氏に講演をしていただいた。

2. 日時・場所

日 時：平成29年12月15日（金） 午前10時30分～12時

場 所：西日本総合コンサルタント株式会社・大会議室

参加者：社員、役員 44名

3. 研修テーマ、講師

研修テーマ：佐賀市が取り組む排水対策(内水対策)について

講 師：佐賀市河川砂防課 水問題対策室 室長 栗山 佳寛 氏

4. 研修内容

佐賀市は、低平地であり都市化の進行や有明海の潮汐等の要因により時間雨量30～50ミリ程度で、市街地周辺の浸水被害が頻発化している。

住みやすい町づくりをテーマとして、排水対策、特に内水対策について市河川砂防課内に水問題対策室を設置して、浸水の状況、浸水要因の調査分析を積極的に取り組まれている。今回、排水対策・取り組み事例や今後の課題についても講演していただいた。

排水対策については、ハード対策（施設整備：水路整備、排水樋門改修、ポンプ場設置など）やソフト対策（施設操作者との連携、農業関係者との連携、浸水標尺の活用など）の連携を行うことが特に重要であると話された。



(写真↑ 佐賀市河川砂防課 水問題対策室 栗山 佳寛 室長)



(↑ 講師紹介：福島裕充 社長)



(写真↑：研修状況)



(写真↑：社員からの質問状況)



(写真↑ 謝礼の言葉：大串正 専務)